



1月9日（火）三番叟まわし！

1月9日（火）、後期後半がスタートしました。8時45分頃から、阿波木偶箱廻し保存会の中内さんと南さんが、今年も吉井小学校に来てくださいました。中内さんと南さんには、以前私も大変お世話になっておりました。久しぶりにお会いすることができてうれしかったです。この日は、加茂谷幼稚園のみなさんも小学校に来て、一緒に「三番叟まわし」に参加しました。子どもたちは、ニコニコした表情で、楽しそうに三番叟まわしを見ていました。

「三番叟まわし」は、およそ300年ほど前から徳島ではぐくまれたと考えられています。徳島県の正月儀礼（習俗）として永く定着し正月にも無くてはならない文化でしたが、1960年代にはほとんど見かけなくなったそうです。中内さんや南さんたちは県内の三番叟まわしの伝承者に弟子入りして、現在では、徳島の伝統文化としての正月の門付けを受け継いで世界中をまわっています。加茂谷幼稚園や吉井小学校の子どもたちは、中内さんや南さんの披露してくださった三番叟まわしから授かった福を大切に持って帰ったと思います。これからも、徳島の伝統文化でもある「三番叟まわし」を大切に受け継いでいく必要があると感じました。

【三番叟まわしの参考書籍として】

詳しい活動内容については、中内さんから吉井小学校に寄贈頂いている「人形のムラⅢ（阿波木偶箱廻し保存会のあゆみ）」の書籍に書かれています。学校にありますので、興味ある方は一読してみるのもよいと思います。



1月10日（水）避難訓練の実施！

1月10日（水）、避難訓練（火災）を実施しました。2024年になり、1月1日には能登半島周辺の石川県や富山県、新潟県で大地震が発生しました。徳島県でも南海トラフ大地震が近い将来起こるといわれています。子どもたちには、日頃から地震や火災といった災害から「自分の命は自分で守る」という意識をもって生活して欲しいと考えています。今回は、休み時間に訓練を設定し、放送等を聞いて、担任の先生がいなくても自分がどのように安全に避難できるかということをもめあてとして取り組みました。これまでの訓練とは違って、子どもたちは少し戸惑っている様子もありましたが、災害は「いつ」「どこで」起こるかわかりません。今回の避難訓練をこれからの災害避難への対応に少しでも生かして欲しいと考えています。

この機会に、ご家庭におきましても、防災用品の確認や避難経路等について話し合っていただければと思います。

